西新宿スマートシティプロジェクト

令和5年度 第2回協議会

2023年11月28日（火）16:00～17:00

令和5年度 第2回協議会 議事次第

議事次第

1. 開会の挨拶 《3分 − 累計3分》
2. 協議会参加者の紹介 《1分 − 累計4分》
3. 協議会の取組の方向性と年間スケジュールの確認 《2分 − 累計6分》
4. 部会の活動報告 《27分 − 累計33分》
   - 4-1.スマートサービス実装部会 ・・・12分
   - 4-2.広報・コミュニティ部会 ・・・12分
   - 4-3.データ利活用部会 ・・・3分
5. 質疑応答及び意見交換 《24分 − 累計57分》
6. 閉会の挨拶 《3分 − 累計60分》

1. 開会の挨拶

2. 協議会参加者の紹介

3. 協議会の取組の方向性と年間スケジュールの確認

取組の方向性｜西新宿スマートシティ協議会

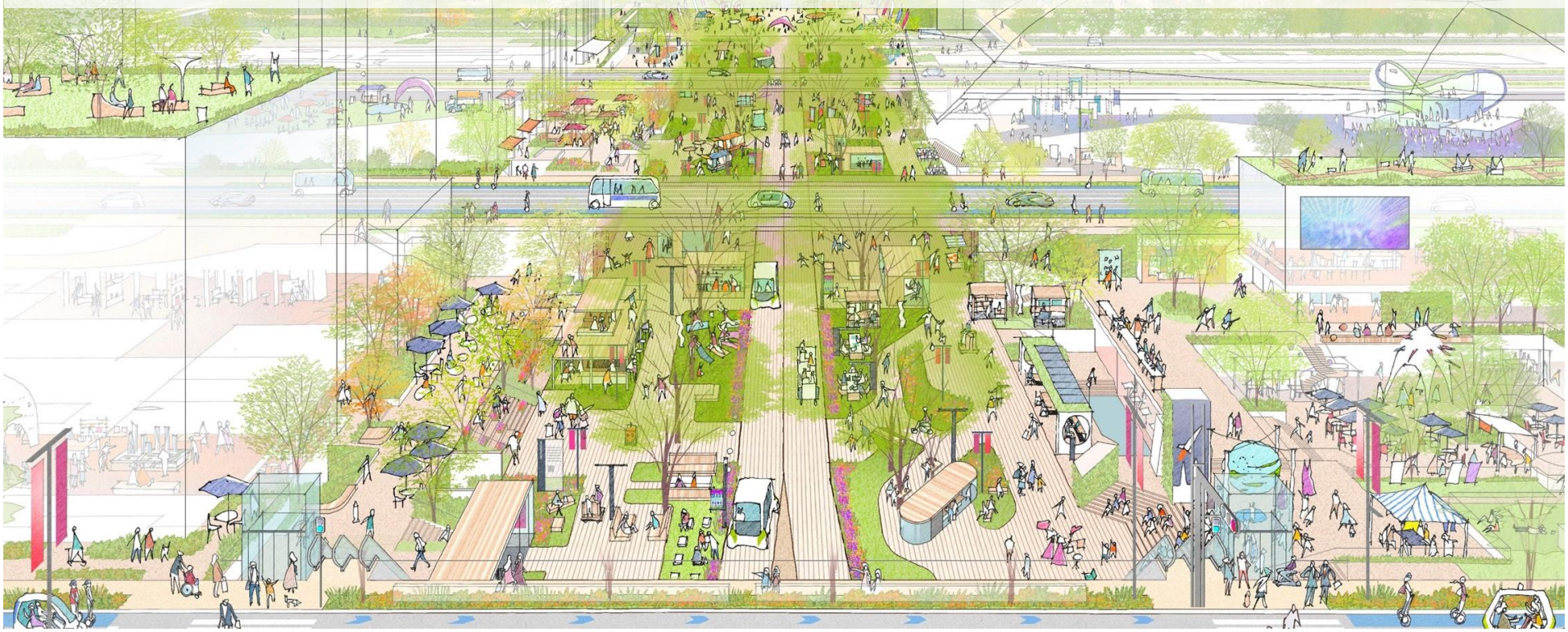
魅力ある西新宿の実現に向けて、デジタル技術を活用し、スタートアップを含む産官学が連携しつつ、学生や子供など多様な人々の意見を反映し、市民のQOLの向上を目指す

【重点分野ごとの目標】

① まちの課題解決や魅力向上に役立つスマートサービスの着実な実装

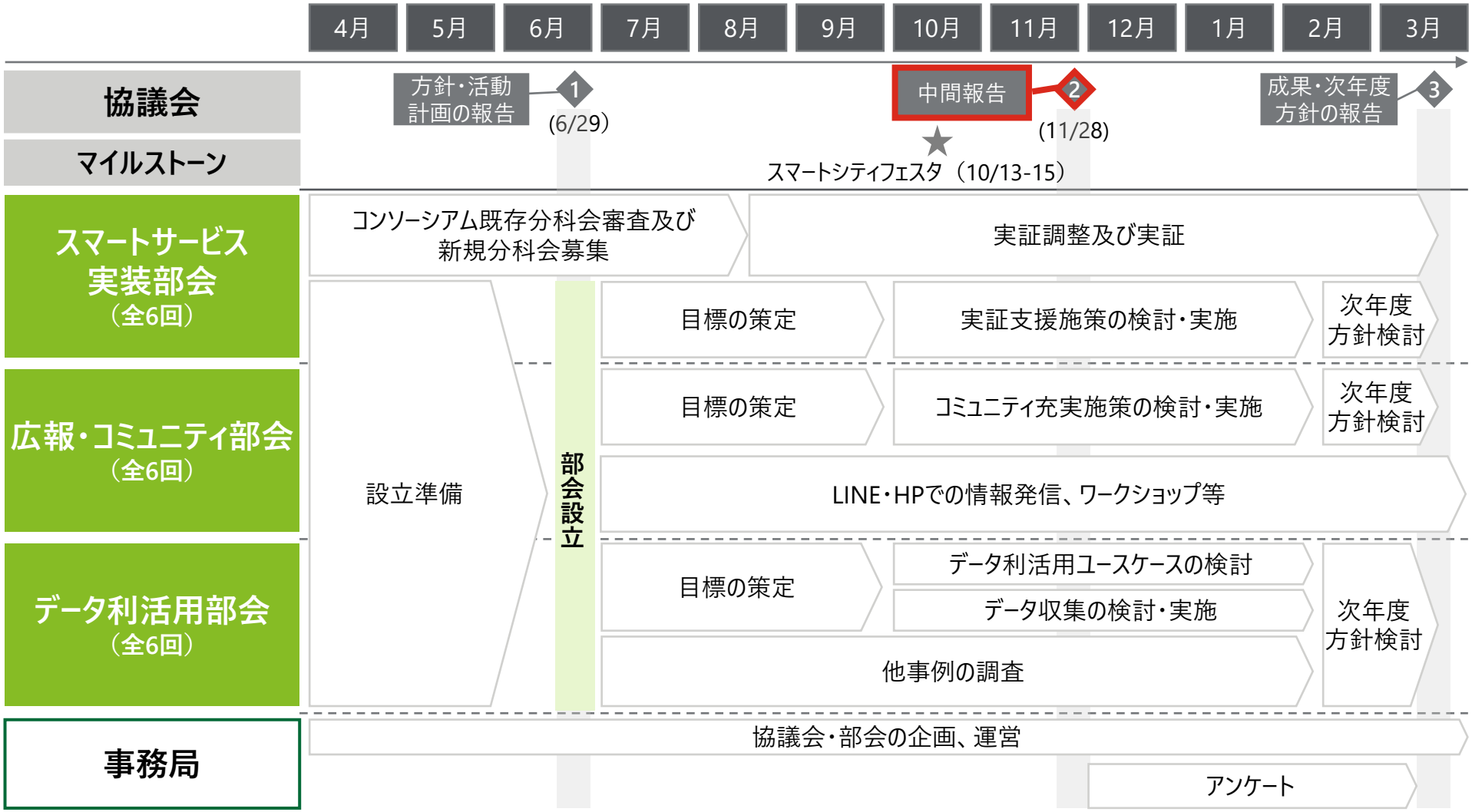
② 多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実

③ エリア内の様々な都市情報を活用するデータ利活用の推進



令和5年度協議会年間スケジュール

各部会で設定した目標及び進捗状況、年度末に向けた課題・取組事項案を報告する



4. 部会の活動報告

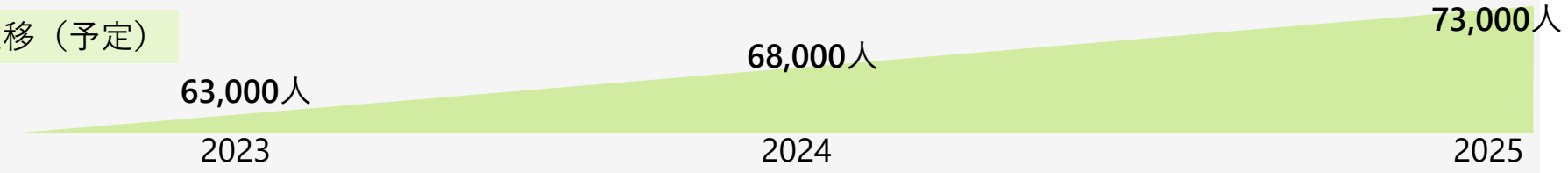
4-1.スマートサービス実装部会
4-2.広報・コミュニティ部会
4-3.データ利活用部会

スマートサービス実装部会｜KGI・KPIの検討（2023年度）

目標は将来を見据え、直近3カ年にスコープを当てて数値を設定

目標　まちの課題解決や魅力向上に役立つスマートサービスの着実な実装

KGIの推移（予定）



KGI

スマートサービスの体験者数（年間）

実施した主な取組

- スマートシティフェスタでの体験機会の提供
- シン・デジタルツインの課外授業
- 屋外AR体験

数値(2023) 目標値	数値(2023) 11月時点	【参考】数値(2025)
63,000人	50,716人	73,000人

KPI

項目	数値 目標	数値 11月時点	数値 4月1日時点	【参考】数値(2025)	実施した主な取組
西新宿で取り組んでいるスマートサービス数	16件	15件	10件	18件	・新規三分科会の参画(+3) ・既存分科会(+2)
西新宿でスマートシティ推進に参画している企業・団体数	94者	112者	81者	129者	・新規三分科会の参画（+11） ・既存分科会へ追加（+17） ・協議会構成員追加（+3）

令和5年度コンソーシアム新規分科会

分科会	名称	活動内容
既存分科会 ジョルダン(株) 小田急電鉄(株) 川崎重工業(株) 大成建設(株) モーションリブ(株)	先端技術を活用した ユニバーサルコミュニケーション分科会 リーダー：大日本印刷(株)	目指すべき姿 • 西新宿でのガイダンスシステム実装を通じて、障がい・世代・国籍問わず人々が障壁なく情報を享受できる街を実現する 活動概要 • 情報とその情報に適切なフォントを組み合わせた字幕をスマートグラスに表示するガイダンスシステムの開発 • サービス事業者へのガイダンスシステム提供による都市実装、収益化方法の検討
新規分科会 大日本印刷(株) (株)Octa Robotics 桜美林大学	建物のロボットフレンドリー化を活用した 新たなワークスタイル検討分科会 リーダー：(株)Octa Robotics	目指すべき姿 • 西新宿の高層ビル群をロボットフレンドリー化し、ビル管理を行うサービス(清掃・警備等)ロボットを安価かつ容易に導入可能な街を実現する 活動概要 • 既設のエレベータとロボットが安価かつ簡易に連携可能となるシステムの開発 • ロボット1台あたりの費用対効果検証によるサービスモデルの検討
	AIを活用した「居心地」測定分科会 リーダー：桜美林大学	目指すべき姿 • 「居心地の良さ」を可視化する推定モデルを通じて、経験や勘に依存しない持続可能なまちづくりを実現する 活動概要 • 「居心地の良さ」の因子調査を踏まえた推定モデルの開発 • 推定モデルを活用したまちづくりの仕組み検討と実践

新規分科会の設立や既存分科会への参入促進により、**28者**が追加となった

「FUN MORE TIME SHINJUKU-スマートシティフェスタ-」での体験機会の創出

10月13日～15日のスマートシティフェスタで、多くの生活者の方にスマートサービスを体験いただいた

スマートシティフェスタの様子（一部取組を抜粋）

シン・デジタルツイン（大成建設）

ブースにて一般の方に体験頂いている様子

自動運転モビリティ（環境改善委員会）

4号街路での実証走行の様子

新宿感触動物園 HapticZoo（モーションリブ）

ブースにて一般の方に体験頂いている様子

イベント期間中、合計**1,845人**に西新宿のスマートサービスを体験いただいた

協議会やコンソーシアムのサービス以外にも・・・

SMART CITY FESTA スマートシティフェスタ

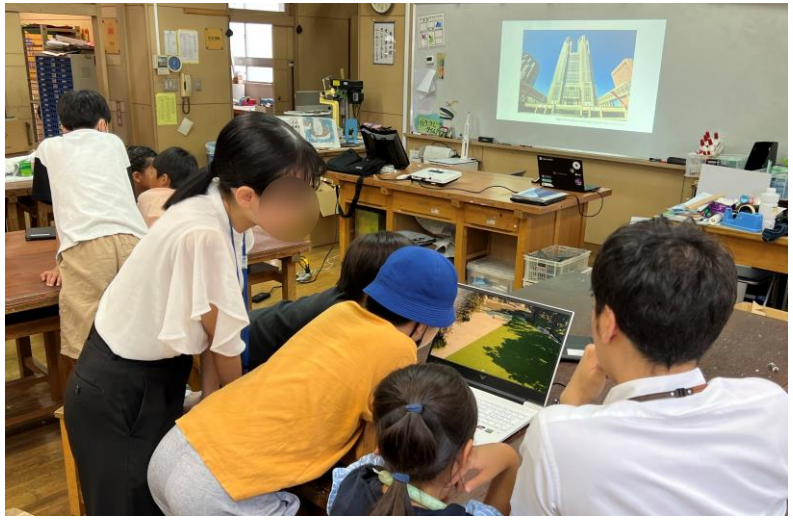
合計**3,359人**が
スマートサービスを体験

スマートサービス取組事例①

西新宿小学校にてシンデジタルツインの課外授業を実施

分科会名	都市サービスの創出と実装を実現するデジタルツイン分科会
実施者	大成建設株式会社
取組概要	■ 西新宿小学校課外授業 「Shin-Digi Kids Challenge」 日時：9月14日（木）13:30-15:00 場所：新宿区立西新宿小学校 ➢ 小学校の課外授業で、シン・デジタルツインのビルド機能を活用 ➢ 西新宿のオープンスペースや新宿中央公園をどのような空間にしたいかというテーマで、3年生から6年生の児童に対して実施
サービス体験人数	6名

スマートサービス体験の様子



スマートサービス取組事例②

新宿中央公園にて屋外AR体験の機会を提供

分科会名	地域の魅力向上に向けた XRの都市実装検討分科会
実施者	小田急電鉄株式会社
取組概要	■ 屋外AR体験 「ミライPARK@新宿中央公園」 https://ar-miraipark.jp/ 日時：10月6日～11月29日 場所：新宿中央公園 ➢ ARが街に溶け込み、公園での活動を促進させる体験型屋外イベント ➢ 公園×AR（拡張現実）を掛け合わせた未来の公園アソビを期間限定で公開
サービス体験人数	726回（※11月16日時点）

スマートサービス体験の様子

スマートサービス実装部会｜目標達成に向けた課題・年度後半の取組案

KGI・KPI目標値の達成に向け、これまでの取組の課題を踏まえ取組を推進していく

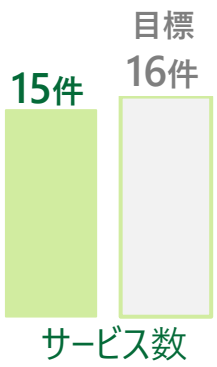
KGI スマートサービスの体験者数（年間）

目標差
-12,284人
（11月時点）

課　題
✓ プロモーションの仕組みの確立や回数が不足している

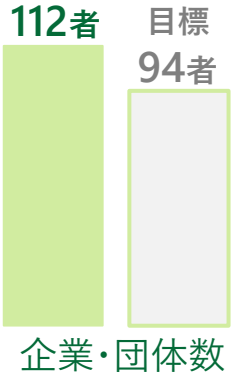
KPI 西新宿で取り組んでいるスマートサービス数

目標差
-1件
（11月時点）



KPI 西新宿でスマートシティの取組に参画している企業・団体数

目標差
＋18件
（11月時点）



年度後半の取組案

1. 計画的な広報活動
広報・コミュニティ部会と連携し、協議会のLINEなどを用いた広報を行う

2. 体験者の共有
共有のチラシ等を作成し、複数のサービス実証をまとめて広報することで、体験者の共有を図る

3. 企業の巻き込み
西新宿でのサービス実証に前向きな企業に対して、密なコンタクト（検討状況確認・支援メニューの打診等）を行い、実証に向けた支援を行う

4-1.スマートサービス実装部会

4-2.広報・コミュニティ部会

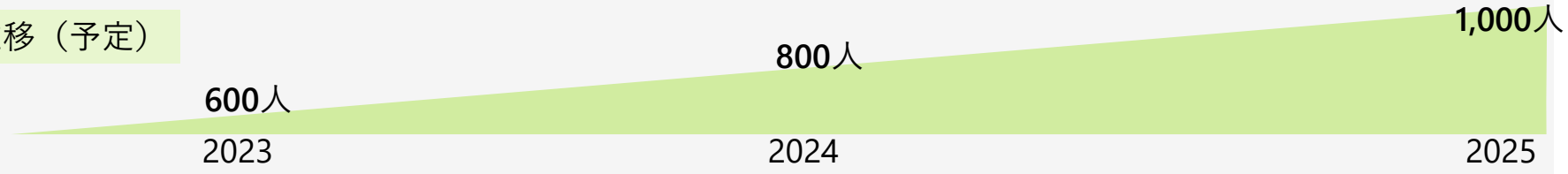
4-3.データ利活用部会

広報・コミュニティ部会｜KGI・KPIの検討（2023年度）

目標は将来を見据え、直近3カ年にスコープを当てて数値を設定

目標　多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実

KGIの推移（予定）



KGI

コミュニティ活動に参加している人数（年間）

実施した主な取組

- オープンスペース利活用企画（6/16～10/15）
- 自動運転ラッピング企画（6/23～7/20）

数値(2023) 目標値	数値(2023) 11月時点	【参考】数値(2025)
600人	542人	1,000人

KPI

項目	数値 目標	数値 11月時点	数値 4月1日時点	【参考】数値(2025)	実施した主な取組
コミュニティメンバー数（累計）（LINE友だち数）	1,500人	1,319人	1,011人	2,500人	・スマートシティフェスタ等での巻き込み活動（+308）

「FUN MORE TIME SHINJUKU-スマートシティフェスタ-」での巻き込み活動

イベントでは多くの方が来場し、西新宿のブースも出展

FUN MORE TIME SHINJUKU

SMART CITY FESTA スマートシティフェスタ

■日程：10月13日（金）～15日（日）
■場所：新宿中央公園、新宿住友ビル三角広場ほか

■来場者数：約5万人（4号街路・都民広場含む）

＜露出メディア＞
- テレビ：3番組
- ラジオ：1番組
- 新聞・雑誌：12媒体
- Webサイト：70サイト

西新宿ブースの概要

■ 協議会LINE登録の促進
- ➢ 新規でLINE登録をしてくれた方、既にLINE登録してくれている方に抽選券（LINEクーポン）を配布し、抽選結果によってスマシーグッズ等をプレゼント

当日の様子

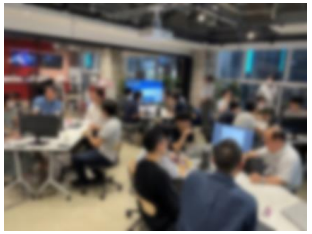
LINE友だちの3日間合計での増加数

■登録者*1：1,784名（＋312名）
■友だち*2　：1,337名（＋283名）

*1：友だち登録者数
*2：友だち（ターゲットリーチ数） ＝ 登録者（友だち登録者数） － ブロック数等
カッコ内はLINE上での表記

コミュニティ活性化①｜オープンスペース利活用企画

デジタル技術を活用した双方向コミュニケーションによるコミュニティ活動の活性化を検討

	アンケート	ワークショップ	投票	反映
実施日	6月16日(金)~25日(日)	7月5日(水)	7月11日(火)~25日(火)	10月13日(金)~15日(日)
目的	■ オープンスペースに欲しい空間テーマに関する生活者意見を収集する	■ 生活者の手であったらいいなと思う空間案を具体化する	■ 投票を通じて好みの空間を1つ選定する	■ 投票結果の中で得票数の高かったものを、イベントで実施する
対象	LINEコミュニティなど			
実施内容	■ 西新宿にあったらいいなと思う空間をアンケート集計 	■ アンケート結果を参考に、「シン・デジタルツイン※」を活用して空間を具現化 	■ ワークショップで作成した空間案（4つ）の中から、あったらいいなと思う空間への投票 	■ 投票結果を反映した空間を作り、生活者に体験いただくことができた
コミュニティ活動の参加人数	アンケート回答者： 97人	ワークショップ参加者： 17人	投票参加者： 378人	–

※西新宿先端サービス実装・産官学コンソーシアムの「都市サービスの創出と実装を実現するデジタルツイン分科会（大成建設㈱）」でのサービス

コミュニティ活性化②｜自動運転ラッピング企画

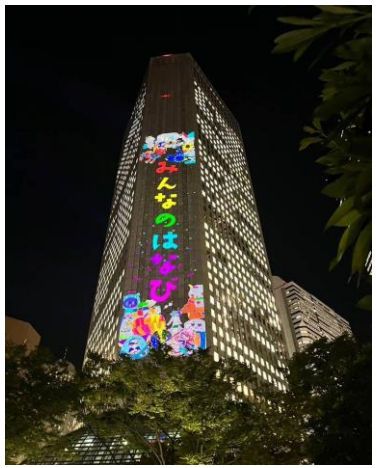
西新宿小学校5年生に協力していただき、自動運転ラッピングの作成から反映までを実施

	ワークショップ	反映
実施日	6月23日（金）	7月20日（木）
目的	■ 自動運転モビリティのラッピング案を考えてもらう	■ 完成したラッピング車両を見てもらいまちづくりへの反映を実感してもらう
対象	西新宿小学校5年生	西新宿小学校5年生
実施内容	■「20年後の西新宿にあったらいいもの」をテーマに自由に絵をかいてもらった 	■ ラッピングされた車両を新宿中央公園でお披露目した
コミュニティ活動の参加人数	ワークショップ参加者： **50人**	–

（参考）

「FUN MORE TIME SHINJUKU-スマートシティフェスタ-」の際、プロジェクションマッピングでも活用された

＜プロジェクションマッピングの様子＞



広報・コミュニティ部会｜目標達成に向けた課題・年度後半の取組案

KGI・KPI目標値の達成に向け、これまでの取組の課題を踏まえ取組を推進していく

KGI　コミュニティ活動に参加している人数（年間）

目標差
-58人
（11月時点）

課　題
- ✓ 生活者側からの意見収集機会が不足

KPI　コミュニティメンバー数（LINE友だち数）

目標差
-181人
（11月時点）

課　題
- ✓ 新たなコミュニティメンバー獲得に向けたターゲット選定が必要
- ✓ ブロック対策が必要

年度後半の取組案

1. 意見収集方法の検討
生活者側からの意見を円滑に収集できるデジタルツール（LINEなど）の使い方の検討を行う

2. ターゲットの設定
コミュニティに必要なターゲットの検討を行い、営業活動を実施する

3. 魅力的なコンテンツの配信
コンソーシアムの実証などと連携し、生活者にとって有意義な配信コンテンツを計画的に配信する

4-1.スマートサービス実装部会
4-2.広報・コミュニティ部会
4-3.データ利活用部会

データ利活用部会の活動報告

部会の数値目標は検討中であるものの、並行してユースケースの検討及びデータ収集を進めることで、データ利活用推進を図る

データ利活用部会での議論

■ データ利活用が進んでいる状態を**“数値化”**して表現することは、難しい

まずは、データ利活用の”ユースケースの検討”と”データ収集”を進める

データ利活用のユースケースおよびデータ収集状況

① **西新宿エリアの特徴である**オープンスペースの利活用促進**のためにデータを使った取組を進める**
取組状況：都庁内の混雑データ取得状況の調査を実施

② **エリア内ビルと地域冷暖房プラント間でのデータ連携を通じた、**スマートエネルギーネットワーク推進**の取組を進める**
取組状況：モデルビル選定調整中（都庁舎含む）

【参考】
渋谷駅周辺の「空間データ一元化による空間活用の促進と多様な主体を巻き込んだ協業型まちづくり」※などを参考にしつつ、他事業の動向も継続確認

※東京都データ連携・活用促進プロジェクト

取組の方向性｜西新宿スマートシティ協議会

「市民のQOL向上」という最上位目標を忘れずに、各部会の目標達成（KGI等の達成）に向けて取組を推進していく

“最上位”目標

魅力ある西新宿の実現に向けて、デジタル技術を活用し、スタートアップを含む産官学が連携しつつ、学生や子供など多様な人々の意見を反映し、市民のQOLの向上を目指す

スマートサービス実装部会

目標 まちの課題解決や魅力向上に役立つスマートサービスの着実な実装

広報・コミュニティ部会

目標 多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実

データ利活用部会

目標 エリア内の様々な都市情報を活用するデータ利活用の推進

便利になった！

KGI スマートサービスの体験者数

自分の意見が反映された！

KGI コミュニティ活動に参加している人数

賑わいが生まれた！

ユースケース① オープンスペースの利活用促進

ユースケース② スマートエネルギーネットワークの推進

カーボンニュートラルになった！

5. 質疑応答及び意見交換

6. 閉会の挨拶